

トヨタ ヴィッツ 4輪アライメント調整とキャンバー調整パーツ取り付け TOYOTA VITZ SCP90

トヨタ ヴィッツ P90系を例に#75600 EZシム イエローを取り付けてホイールアライメントを調整します。アクア NHP10やヴィッツ P130系も同じ方法で調整することができます。これらの車種のフロントキャンバーには#81270 キャンバーボルトが適合します。



今回使用するEZシム イエローをはじめキャンバー調整ボルト(EZカムXR)やSPCアライメント調整パーツは【アムテックス オンラインストア】から購入することができます。

<http://amtecs.co.jp/shop/>

製品取扱店/代理店をお探しの方、電話による製品のご購入・ご相談は04-2968-9200まで。



今回の四輪アライメント作業に使用したテストは、John Bean Arago。

このホイールアライメントテストについてはこちら

http://www.amtecs.co.jp/products/john_bean/index.html

現状を把握するためにアライメントを測定します。



測定結果は次の通りです。



AMTECS LTD.

www.amtecs.co.jp

SPC & John Bean 輸入元/代理店 株式会社アムテックス

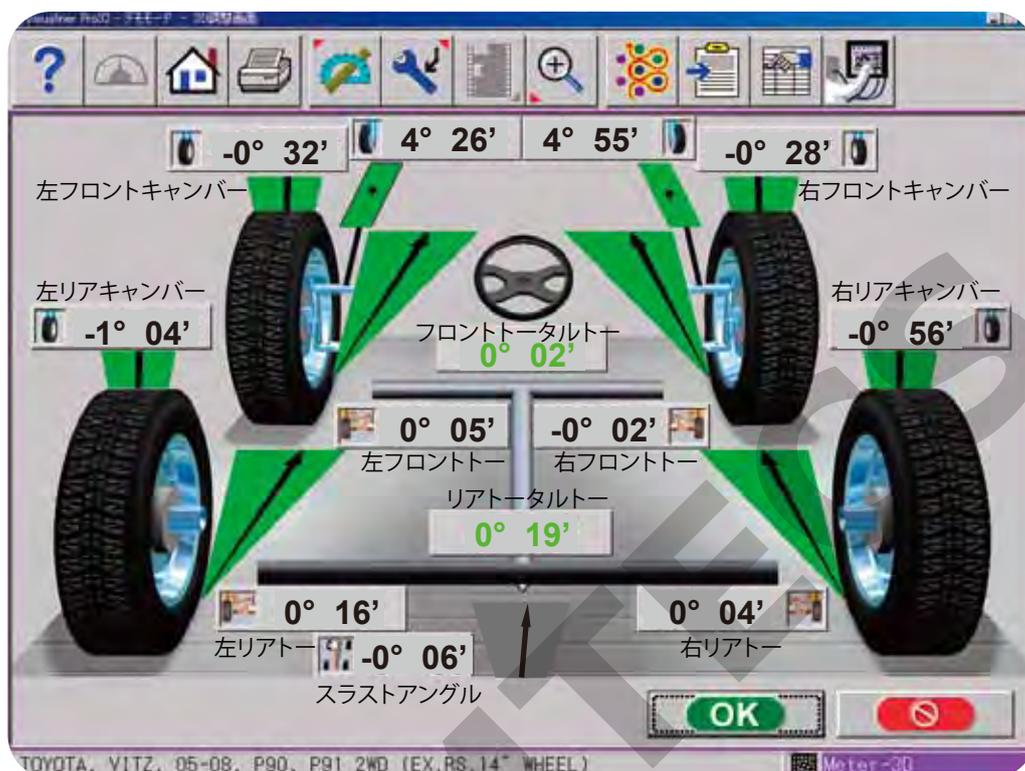


John Bean V3D ホイールアライメント測定結果

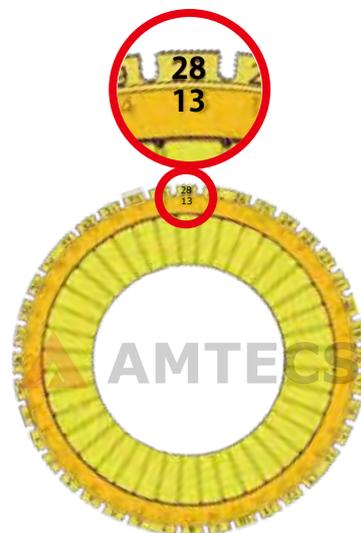
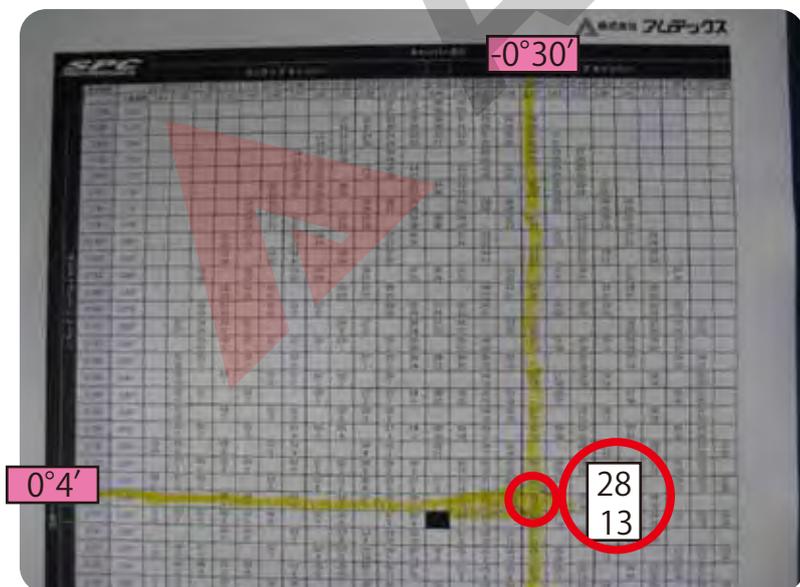
数値はすべて許容範囲内にありますが、あえてリアキャンバーを許容範囲ぎりぎりまでネガティブ方向に調整し、同時にトーも調整してスラスト角をゼロに近づけます。

フロントキャンバーも#81270 EZカムXR 15mmを使って調整することができます。

【EZカムXR ビデオ】 http://www.amtecs.co.jp/products/ez_sim/xr_demo.html



右リアトーは4'変化させて8'を目標に、-0°56'のキャンバーを-1°26'を目標に調整します。EZシム取付説明書裏にあるチャートを参照して、現在の数値から希望するキャンバーとトーの変化量が交わった番号を探します。今回トー変化量は+4'、キャンバー変化量は-30'を選択し、交わった番号は28番と13番となります。この28番と13番をシム外側の番号28番と内側の番号13番を合わせます。





90系 ヴィッツに75600 EZシム イエロー 取り付け アライメント調整

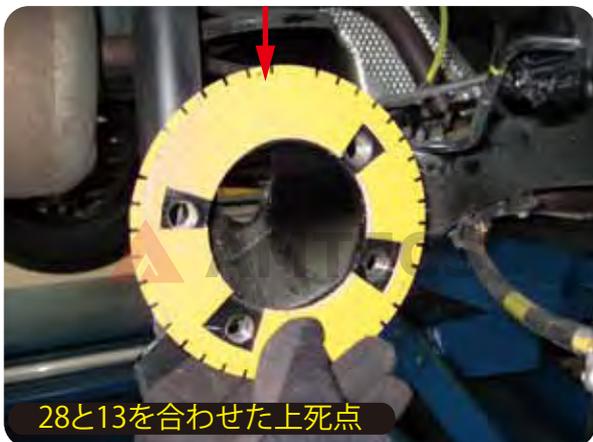
サスペンション下で上げられない場合はバックプレートなどに上死点の印をつけます。
タイヤ、ハブベアリング取付ボルトとABSセンサーを外します。ブレーキラインを傷めないように注意します。



上死点を確認してシムを付属の型紙に合わせてカットします。型紙に合わせてハブベアリング取付ボルト部分をカットします。



シム接触面を清掃し、ハブベアリングもさびなどを落とします。EZシムの最も薄い部分から十文字にボルトを締め付けます。取付ボルトはカーメーカー指定トルクの15%増して締め付けます。左リアにもEZシムを取り付け、再計測します。



EZシムの取り付け方についてはこちらのビデオをご覧ください。
http://www.amtecs.co.jp/products/ez_sim/ezshim_demo.html

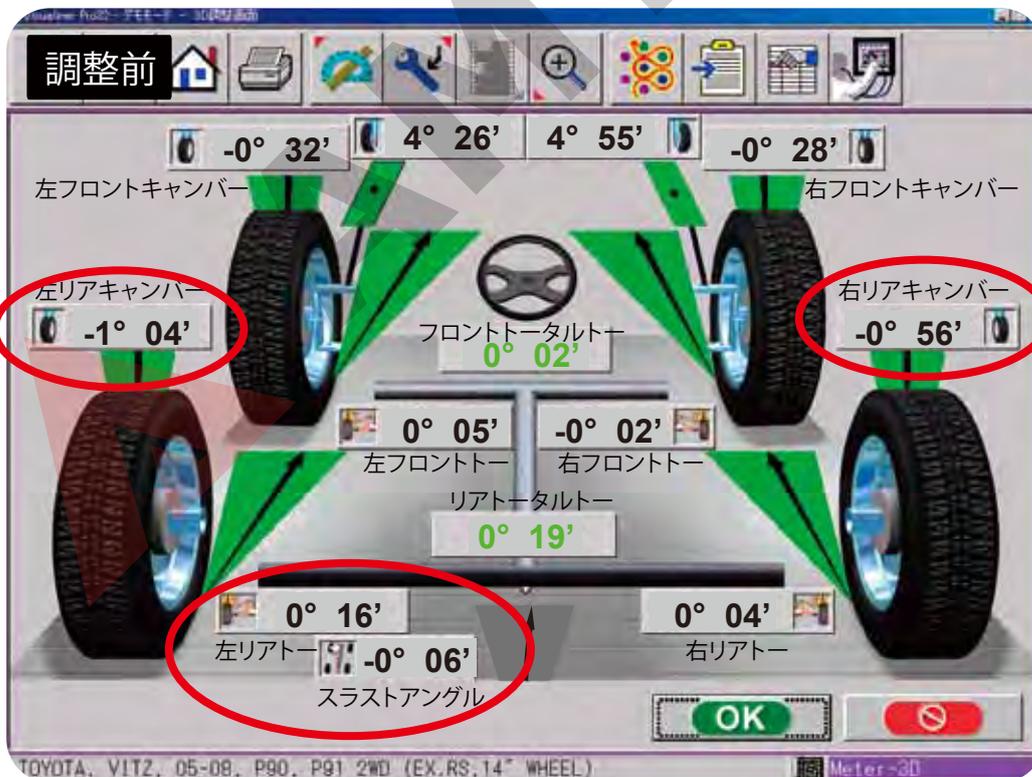


John Bean V3D 四輪アライメント測定結果

右リアトーは+4'変化させて8'を目標にしましたが2'しか動かず調整後は0°6'、右リアキャンバーは-1°26'を目標にして調整後は-1°30'となりました。

左リアトーは-7'変化させて9'を目標にし調整後は0°10'、左リアキャンバーは-1°29'を目標に-23'変化させて調整後は-1°24'となりました。

左右のリアキャンバーも狙いより多少の誤差が出ましたが特に大きな問題はありません。スラストアングルも-6'から2'に改善されました。最後にフロントトーを調整します。



【アマテックス オンラインストア】
<http://amtecs.co.jp/shop/>

AMTECS LTD.
www.amtecs.co.jp